

●電験三種 石田講師より(新宿校／4科目完全合格コース／要点速修コース収録担当)

みなさん、こんにちは。TAC 電験講座講師の石田です。

今回は、4科目完全合格コース（又は単科生）／要点速修コース（又は単科生）の方向けに、講義の復習方法などについてお話したいと思います。

初めて電験（電気）について学習を始めると、ほとんどの方（過去の私含め）がCH01の直流回路でなんとなくいけそうな感覚をつかみ、CH02の静電気、CH03の電磁力でボコボコにやられます。

勉強にはどうしても順番や段階がありますが、ここで気を付けたいのは、初めに出てくる内容は基礎・基本であって、簡単だから先にやるわけではないということです。

CH02 静電気、CH03 電磁力は、とにかく新しく出てくる考え方やコトバ(量記号や単位)が多いので、情報量が許容量を超えてパンクしてしまいます。

なのでまずは、

①新出事項を知る

②教科書を読み返したり、教科書の基本例題・ミニテスト・トレーニングなどの易しい問題を解いて慣れる

という流れで進めて、情報を整理していくことが大切です。特に CH02 静電気は、本試験の直前でも、答えきれないほど質問がくる内容です。最初からすべてを理解する必要はありません。

内容に慣れてきたら、

③問題集や過去問を使って理解を深める

と、『知る→慣れる→理解する』という形で勉強するのが電験では一般的です。

どうしても章と章や、科目と科目などで、内容が切り替わったタイミングはしんどくなります。慣れてしまえば実はなんてことないものも多かったりするので、最初は肩の力を抜いて、継続することを意識してください。

また、受験経験者の方など含め、慣れてきたら②と③の往復で『問題を解く→教科書を読み返す』の反復で学習していく形になります。

どの資格試験もそうですが、モチベーション維持は想像以上に難しく、試験当日まで勉強を続けられる人はあまり多くありません。資格試験は、受けるも受けないも自分の意志次第です。電験三種の受験率はあまり高くなく、数字で見るとよりも会場の方がより空席具合を感じることができると思います。

初めからすべてを理解しようとしたり、一日何時間勉強する（何問解く）のような学習法は、後々しんどくなってくることがあります。今の時期はあまり気負い過ぎず、無理なく続ける形で電験と付き合ってもらえたらと思います。

以上になります。

それでは本試験に向けて、がんばってください。